



とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

教育には、人づくりという大きな使命がある。

また、本県における教育の基本理念「とちぎから世界を見つめ 地域とつながり 未来に向かって ともに歩み続ける人間」に育てるためには、とちぎの子どもたちが、自己実現を目指して生涯にわたり学び続けていけるようにしていくこと、そして、主体的に社会に参画してこれから先の未来を自分たちの手でともに創造していけるようにしていくことが必要である。

そこで、県教育委員会では、とちぎの子どもたちが将来、社会的に自立し、主体的に社会に参画し生きていける力を培うことのできる教師を「とちぎの求める教師像」として示している。

◆ 人間性豊かで信頼される教師

教師には、子どもたちの人格形成に関わる一人の人間として、豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀、コミュニケーション能力などの資質が求められる。

子どもたちが自分自身の目標に向かい、自己実現と社会的自立ができるよう、保護者や地域と連携し、教師自身が学び続ける姿勢を示すことが信頼につながる。

◆ 幅広い視野と確かな指導力をもった教師

教師には、研究と修養に努めながら幅広い視野と教養、そして、確かな指導力を身に付けることが求められる。

これからの社会を生きる子どもたちには、生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成が求められる。

◆ 教育的愛情と使命感をもった教師

教師には、自分の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感をもつことが求められる。

教職に対する誇りや、子どもたち一人一人の個性や能力を伸ばそうとする深い愛情は、様々な教育課題を乗り越える力となり、それが子どもの成長とともに教師自身の成長にもつながる。

※ 教師像の解釈は、本地区において示したものである。